

令和7年度「2学期 教育活動に関するアンケート」結果（報告）

過日は、「Forms」を使つてのアンケートにご協力をいただきありがとうございました。集計結果を下記のようにまとめましたので報告させていただきます。今回のアンケート結果も参考にしながら、今後の教育活動の充実・改善に努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 集計結果

本アンケートは、今年度2回目となります。「よく当てはまる:4点」「だいたい当てはまる:3点」「あまり当てはまらない:2点」「全く当てはまらない:1点」でご回答いただいた皆様の平均を出しています。1学期末の平均点と比較した数値を（ ）に示しています。保護者・児童・教職員のそれぞれの数値で一番高いものに○、一番低いものに△が付いています。

保護者回答率は48%で、1学期回答数114人から、2学期は144人に増えました。多くの皆様にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

	質 問 内 容	保護者 (144人)	児童 (215人)	教職員 (18人)
①	【自分を大切にする子】子どもは、自分の命を大切にすることができ、自分のよさを伸ばそうとしている。	3. 2 (-0.1)	3. 3 (0)	3. 1 (+0.1)
②	【人を大切にする子】子どもは、友達に親切にすることができ、友達と協力して学習や運動に取り組もうとしている。	○3. 3 (0)	○3. 5 (+0.1)	△2. 9 (-0.1)
③	【地域を大切にする子】子どもは、地域の人たちと挨拶することができ、地域行事に積極的に参加しようとしている。	△2. 9 (-0.1)	△3. 1 (-0.1)	△2. 9 (0)
④	【学習活動】教職員は、子どもたちが興味をもって進んで学び、友達と話し合つて自分の考えを深めることができる授業を展開している。	○3. 3 (+0.1)	△3. 1 (-0.2)	△2. 9 (+0.1)
⑤	【道徳科】教職員は、子どもたちが本音で語り合い、自己の生き方について考えを深めることができる道徳科の授業を展開している。	3. 1 (+0.1)	3. 3 (0)	3. 0 (+0.3)
⑥	【学級経営】教職員は、子どもたちの居場所づくりや絆づくりに努め、互いのよさを認め合うことができる温かい学級づくりに取り組んでいる。	○3. 3 (+0.1)	3. 2 (-0.2)	3. 1 (-0.3)
⑦	【生徒指導】教職員は、子どもたちに基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努めている。	3. 2 (+0.1)	3. 2 (+0.1)	3. 1 (-0.3)
⑧	【特別活動】学校は、児童会や学級活動において子ども同士で関わる場を設け、集団や社会で生活するための能力を育てている。	○3. 3 (+0.1)	3. 3 (-0.2)	3. 2 (+0.1)
⑨	【健康教育】学校は、子どもたちに健康や安全について自分事として考えさせ、自分の健康や安全についての意識を高めている。	○3. 3 (+0.2)	○3. 5 (0)	○3. 3 (+0.2)
⑩	【地域連携】学校は、学校公開やホームページなどで情報発信に努めるとともに、保護者や地域の人たちとの連携を進めている。	3. 2 (0)		3. 2 (0)

集計結果を見ると、1学期と比較して全体的に保護者の皆様にはプラスの評価をいただきました。特に「健康教育」については、子どもたちが自分の健康や安全についての意識を高めているとの評価が高く、この項目については児童も教職員も三者全てにおいて、達成度の高い結果となりました。1学期の学校保健委員会では全校児童が「アンガーマネジメント」について学び、継続的に声掛けをすることで、次第に自分の感情のコントロールに意識を向けようとする児童が増えてきました。運動会に向けても、自分の体調に気を付けながら目標に向かって全力を出し切って挑戦し続ける頼もしい姿が見られました。また、全国瞬時警報システム（Jアラート）訓練等には、自分の命を守るために真剣に取り組む姿がありました。引き続き、子どもたちが自分の命や心身に目を向け、心の健康や体力の向上、防災等に自分事として取り組める活動を続けて参ります。

「道徳科」については、1学期の結果を踏まえ、子どもたちが自己の生き方について考えを深めていけるような授業を工夫したり、学びの様子が分かるようにワークシート等の持ち帰りをしたりし、改善に努めました。

「学級経営」と「生徒指導」については、特に教職員の結果が低くなっています。学校は集団生活において人間関係を学ぶ場でもあります。日々子どもたちの人間関係も複雑化し、友達との関係に悩んだり、トラブルに発展したりすることもあります。引き続き、子どもたちの様子を見取り、話を聴き、寄り添いながらサポートします。さらに、居場所づくりや絆づくりを大切にしたい、温かい学級づくりに努めて参ります。

「地域を大切にする子」については、他の項目と比べると少し低い結果となりました。本アンケート実施後に、初開催された地域行事「冬のお楽しみ会」は、子どもたちにぜひ思い出に残る楽しいイベントを経験させたいという地域の皆さんの熱い願いが込められた会でした。参加した110人ほどの子どもたち誰もが、笑顔いっぱいでした。3学期には地域主催の「防災フェスタ」が実施され、4年生「防災学習」の学びの成果を発表する場としても予定しています。地域と子どもたちがどんどん顔見知りになり、学校・家庭・地域の連携・協働がますます進むことを願っています。

2 自由記述内容より

目指す児童の姿を「①自分を大切にする子・②人を大切にする子・③地域を大切にする子」として、2年間教育活動に取り組んできました。ご記述いただきました保護者の皆様のたくさんのご意見をまとめました。

① 「自分を大切にする子」として育ってきたと感じること ・自分の気持ちや体調を理解し、言葉で伝えられるようになってきた。 ・自分のよさや努力を認め、前向きに行動できるようになってきた。 ・目標に向かって努力し、できるようになる喜びを味わっている。
② 「人を大切にする子」として育ってきたと感じること ・相手を思いやり、気持ちに寄り添おうとするようになってきた。 ・言葉や行動で「優しさ」を表現できるようになってきた。 ・思いやりを「行動と言葉」で表せるようになってきている。 ・周囲の人を守り、協力しようとする姿が見られるようになってきた。
③ 「地域を大切にする子」として育ってきたと感じること ・地域の方へ自分から挨拶し、つながりを大切にする姿が育っている。 ・地域の方への感謝や思いやりを言葉で伝えられるようになってきた。 ・地域の行事や活動に積極的に参加し、地域の一員として行動している。
○ さらに成長を期待する姿（上位3つ） 1位 自分で考えて行動する子（97票） 2位 人の気持ちを考えられる子（84票） 3位 自分の意見を言える子（76票）

保護者の皆様が感じた「子どもたちの育ってきた姿」を改めて知ることができ、大変うれしく思います。特に、「人を大切にする子」については、子どもたち自身も成長を感じているようです。具体的には、「けんかが減った」「困っている子に声をかけた」「自分の気持ちを伝えられるようになった」「相手の気持ちを考えられるようになった」「思いやりが増え、学校の笑顔が増えた」「下級生とも話せるようになった」「友達と協力して活動できるようになった」など、人を大切にする姿やコミュニケーションの成長が伺えます。本アンケート結果を踏まえ、今後も子どもたちが自分で考え自分の意見をもって行動できるような、子どもにゆだねる場面を設定したり、人の気持ちを考えて行動するスキルを身に付けられるような活動を工夫したりしていきます。引き続き、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。